

2024年度 ITJ安全衛生・健康管理重点方針

IHI

2024年4月1日

株式会社 IHIターボ

「すべての災害は防ぐことができる」との強い信念のもと、全員参画で「災害ゼロ」の実現を目指す。

災害発生における共通の問題点

【作業員(被災者)】「リスクがあるという認識が無い」まま作業を行い受傷



【管理監督者】「こんなやり方はしない、ルールを守るもの」と考えていた

双方の認識に必ず違いはある
まず認識の違いに気づく

双方で「気づける」ように、全員が共通の認識となる取り組みを推進

1. 安全管理重点方針 目標：災害ゼロ

(1) 「自立・相互啓発型」組織に向けた対話の強化

- ・リスク洗い出し精度を高め、施策・注意事項の認識共通化
- ⇒ 非常作業や付随する作業についても、現場確認と作業の前後の危険要因も含めて対策に取り組む

(2) 「グループ安全基本原則」に該当する災害の撲滅

- ・特に、機械・装置、重量物取り扱い時のはさまれ、手工具使用時の災害の撲滅
- ⇒ 危険な場所/「*にくい作業」の抽出/排除など、本質安全目線の各種パトロールを強化していく
- ⇒ 関係者全員参加によるKYMとRA活動の確実な実施（安全衛生委員会でフォロー）

(3) 未熟練作業員の災害の撲滅

- ・上位者とのKYMを通して危険意識・予知レベルの向上 ⇒ 上記 (1) の共通認識活動
- ・教育による危険感受性の向上 ⇒ 産汎領域内で展開されるVR教育の活用など

「一人ひとりの活力向上」と「働く喜びを感じられる職場づくり」を目指し、
全員参加でウェルビーイング活動に取り組む。

2. 健康管理重点方針 目標：健康度調査項目の平均値：50%以上の職場で改善

(1) オフェンス（攻め）の施策：個人と組織の活力向上

- ・個人の活力を高めるための習慣づくり（睡眠・栄養・運動・食事・禁煙など）
⇒ 領域重点項目の**睡眠、運動支援のウォーキング企画**など
- ・誰もが安心して働くことができ、活躍できる職場風土づくり
⇒ 「小集団活動」、「対話活動」、「メンタルヘルスマネジメント」などの**全社活動の推進**
⇒ 職場のマネジメント系列と連携し、**従業員同士が相談しやすい職場風土の醸成**を進める

(2) ディフェンス（守り）の施策：心身の不調に速やかに対応できる体制の整備

- ・早期対応・早期回復・継続支援のためのプログラムの継続的なブラッシュアップ
⇒ **各種支援プログラムの活用**
マネージャー向けメンタルヘルス・AKP(*1)教育・セルフケア教育・再適応支援・
治療と職業生活支援など

*1 A：安全 K：勤怠 P：パフォーマンス

- ・基盤となるヘルスケアと疾病予防対策の推進
⇒ **疾病予防対策推進と適切な就業措置管理**
健康診断後の適切な受診勧奨・就業措置管理・特定保健指導、
熱中症・感染症の予防対策の徹底など